



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ブラウドシティ日吉 レジデンス	階数	地上20F
建設地	横浜市港北区箕輪町二丁目707番1	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	1,343 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,集会所,集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年2月 竣工	評価の実施日	2017年12月4日
敷地面積	11,301 m <sup>2</sup>	作成者	庄司 愛
建築面積	3,564 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	31,891 m <sup>2</sup>	確認者	

外観パース

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p><b>BEE = 2.2</b></p> <p>S: A: B+: B-: C:</p> <p>環境品質 Q</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: 60%: 80%: 100%: 100%超:</p> <p>参照値</p> <p>建設物の取組み</p> <p>上記+ 以外の</p> <p>上記+</p> <p>0 46 92 138 184 230 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p><b>Q 環境品質</b></p> <p>Q のスコア = 3.5</p>		
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <p>Q1のスコア = 3.9</p>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <p>Q2のスコア = 3.4</p>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <p>Q3のスコア = 3.2</p>
<p><b>LR 環境負荷低減性</b></p> <p>LR のスコア = 3.8</p>		
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <p>LR1のスコア = 4.2</p>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <p>LR2のスコア = 3.5</p>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <p>LR3のスコア = 3.6</p>

3 設計上の配慮事項		
<p><b>総合</b></p> <p>先端的な環境配慮への取組みと、建物の一部に地域交流施設を設けることにより新しい地域貢献が可能な施設となるよう計画した。</p>		<p><b>その他</b></p> <p>—</p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4 を取得。</li> <li>ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用、ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない材料を全面的に使用。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本住宅性能表示基準 3-1劣化対策等級3 を取得。</li> <li>階高を2965mmとし、ゆとりある空間を演出している。</li> </ul>	<p><b>Q3 室外環境(敷地内)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>配棟を道路境界線から充分に後退させることにより、周囲への圧迫感を軽減している。</li> <li>地区計画により建築物の形態意匠等の制限が定められ、周辺のまちなみへの調和を図った計画としている。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全住戸にエコキュートを採用。</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>リサイクル促進対策として、住戸は二重天井とすることで、配管や配線が躯体や仕上材と錯綜しないようにしている。</li> <li>仕上げに関しては、躯体+軽鉄+仕上材とし、分別が容易にできるものとしている。</li> </ul>	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住宅用に236台分(住戸数x65%)の駐車スペースと、722台分(住戸数x199%)の駐輪スペースを確保し、周辺の交通負荷抑制に配慮。</li> <li>住宅部分で断熱等性能等級4 を取得しており、外皮の熱損失の防止及び、空調設備等に係るエネルギーの効率的利用に配慮している。</li> </ul>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと。評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号( ~ )を示し記述してください。

建物名称 **プラウドシティ日吉 レジデンス**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **60** %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	対象外

受付日 2017年12月5日

エネルギー対策 ( 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)  
 日本住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4 を取得  
 全住戸にエコキュートを採用

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **3**

室内環境対策 ( 温熱環境対策 光環境 空気質環境)

ブラインドで昼光制御し、グレア対策としている。

ほぼ全面的にF を使用

機能性対策 ( 機能性 知的生産性向上の取組)

福祉のまちづくり条例を満たす

室外環境(敷地内)対策 ( 敷地内温熱環境の向上)

地表面の被覆材に配慮

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

耐用性・信頼性 ( 耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上 信頼性)

免震建築物

日本住宅性能表示基準 3.1劣化対策等級3 を取得

機械・配管支持方法は耐震クラスAを基準としている。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

室外環境(敷地内)対策 ( 生物環境 まちなみ・景観 地域性への配慮)

中央広場と遊歩道、歩道状空地を計画し、環境配慮の可視化と街区周路に対して豊かな表情をつくっている。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・  
蓄電池 ・雨水等利用設備 ・

エネルギーマネジメントシステム導入



### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号( ~ )を示し記述してください。

建物名称 **プラウドシティ日吉 レジデンス**

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **22** %削減



一次エネルギー消費量基準	適合
外皮基準	適合

受付日 2017年12月5日

エネルギー対策 ( 建物外皮の熱負荷抑制 自然エネルギー利用 設備システムの高効率化 効率的運用)

日本住宅性能表示基準 5.1断熱等性能等級4 を取得

全住戸にエコキュートを採用

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **4**

室内環境対策 ( 外皮性能)

断熱等性能等級 等級4 (相当)

健康・安心対策 ( 健康対策 防犯対策)

日本住宅性能表示基準 6.1ホルムアルデヒド発散等級(内装・天井裏等)3 を満たしている

その他の対策 ( 自然材料・通風の工夫など)

工夫の有無 なし

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

耐用性・信頼性 ( 耐震・免震 部品・部材の耐用年数向上 信頼性)

免震建築物

日本住宅性能表示基準 3.1劣化対策等級3 を取得

機械・配管支持方法は耐震クラスAを基準としている。

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

室外環境(敷地内)対策 ( 生物環境 まちなみ・景観 地域性への配慮)

中央広場と遊歩道、歩道状空地を計画し、環境配慮の可視化と街区周路に対して豊かな表情をつくっている。

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

燃料電池 ・  
蓄電池 ・雨水等利用設備 ・

エネルギーマネジメントシステム導入

HEMS